

親子聖書日課

NO.1859 2024.5/12-18

名前

[日]神は人の言葉を通して語られます。エリフは、他の友人と違って、苦しみを罰としてではなく、訓練として捉えました。どんな人でも、清められる必要があります。神からの試練は、罪を指摘するためではなく、人を清めるために用いられます。

[月]エリフは他の友人よりも正しいことを語りましたが、どれだけヨブのことを知っていたかは疑問です。彼は神への熱心さの余りヨブを責めましたが、神に代わってヨブを裁くことは許されません。むしろ、ヨブのためにとりなしの祈りをすべきです。

[火]自分の正しさを神に認めてもらいたいのは、ヨブだけではありません。しかし、そこには自分の義を誇る「ご利益信仰」が見られます。神の前に自分の正しさを主張しても何にもなりません。神を信頼して、神の答えを待ち続けることです。

[水]苦難は悪いものではありません。エリフが言うように、「神は貧しい人をその貧苦を通して救い出し」て下さいます。苦難を通して人間の限界を知らされ、主に信頼します。ですから、苦難は神の裁きではなく、神の恵みと憐みの手段です。

[木]自己主張することに熱心なヨブに、神の声を聞け！とエリフは迫ります。様々な気象条件の中でも、神の驚くべき御業を知ることができます。降り積もる雪も、美しい結晶からなっています。自然界を支配されている神を恐れ敬うことです。

[金]神は沈黙を続けましたが、ヨブを無視されてはいません。ヨブが神の声を聞く用意が整うのを待っていました。「ヨブに答えて」と記されています。ヨブが神に訴えかける言葉を聴いておられました。御言葉に静聴することが大切です。

[土]動物の生き方から多くのことを学べます。鷲は死んだ物を食べません。私達も生きた御言葉に養われてこそ、鷲のように翼を張って、自由に生きることができます。御言葉こそ、信仰が羽ばたく栄養源ですから、聖書日課に励みましょう。



	聖書	問題	答え
日	ヨブ記 33:1-33	全能者の息吹が私に何を与えましたか。	
月	34:1-37	神は何に目を注ぎ、その一步一步を見ておられますか。	
火	35:1-16	私の造り主なる神は夜、何を与える方ですか。	
水	36:1-33	神は貧しい人をその何を通して救い出して下さいますか。	
木	37:1-24	神は何をとどろかせ、私達の知りえない大きな業を成し遂げますか。	
金	38:1-41	知識もないのに言葉を重ねて、何を暗くしていましたか。	
土	39:1-30	鷲は岩や砦の上で夜を過ごし、その上から何を探しましたか。	
	感想と祈りの課題		